

インターネット社会をスマートに生きる

急速に発展する情報社会の中で、子どもたちがしなやかに楽しく生きていけるように、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりが進められています。それぞれの取組を紹介します。

学校

アンケート調査を活用した実践【黒田庄中学校】

子どもたちの課題は？



アンケート調査の結果から、子どもたちの利用状況や課題を把握

- ❗ コミュニケーションアプリの利用率の高さ
- ❗ 安易な発言で相手を傷つけてしまうトラブル

課題解決に向けた授業案づくり

相手の気持ちを考えた言動について考えさせたい。自分の気持ちをコントロールできる自制心を育てたい。



授業者の思い



中嶋 宏彰さん
黒田庄中学校 情報教育担当

技術が進歩し“便利なツール”を介すようになったとしても、人と人のかかわり方は変わることはありません。授業の中でもう一度、人を傷つけることのない優しさについて考えさせ、“便利なツール”を正しく扱うことのできる力を育みたいと思います。

道徳科「みんなで考えよう ケータイ・スマートフォン」

SNSを使うとき、この言葉で返信していいのかわからない、もう一度考えてからやりとりをしたいです。

スマホにすべてを頼るのではなく、本人と会って伝えることを意識したいです。



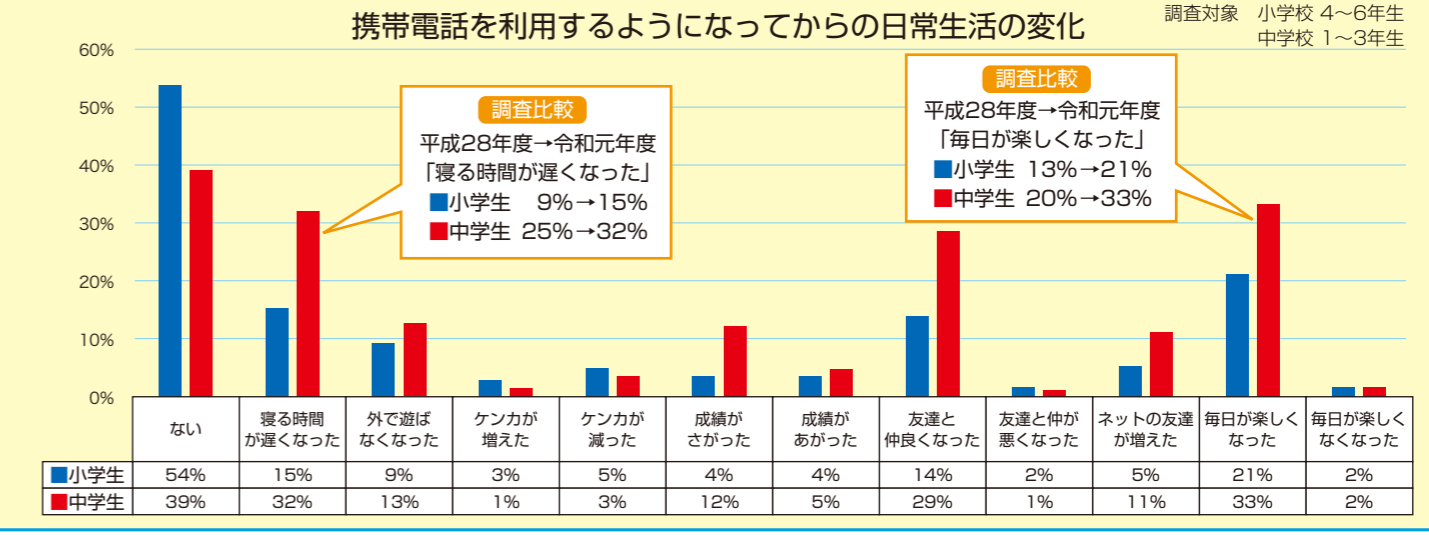
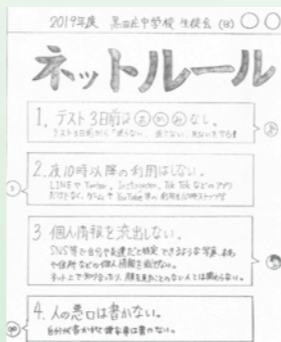
相手の気持ちを考えて、嫌な気持ちをする人がいないようにしたいです。

「今、自分は何をしたいか、何をすべきかきちんと考えれば、スマホを使うことも怖くないと思います。」

言葉の使い方や間違いがないかなど、確認してから送信するようにしたいです。

生徒会の取組

生徒会で話し合いながらネットルールを考えています。最近では、TikTokなどの動画アプリを使う人も増えてきているので、今の利用状況に合わせたルールづくりをしています。特に「個人情報を出さない」や「人の悪口を書かない」は、大人になってからも大事になってくることなので、中学生のうちから気を付けていきたいです。SNSのしくみをしっかりと理解し、むやみに使用しないよう、ネットルールを大事にしていきたいです。



【西脇市令和元年度インターネット端末等に係るアンケート調査結果】

地域

地域の人権学習会においても、インターネットに関する人権問題は、関心の高いテーマになっています。子どもたちの身近にいる大人が、インターネットやSNS等に対する正しい知識を身につけようと取り組まれています。



NIT 情報技術推進ネットワーク(株)
篠原 嘉一さん

参加者の感想

むやみやたらに投稿することの危険性を学びました。子どもたちにあいさつをすることが、「イイネ！」をすることだと教えていただきました。



NIT 情報技術推進ネットワーク(株)
嶋田 亜紀さん

参加者の感想

知らないところで人権を侵したり侵されていたり…。使い方を正しく知り、役立てる方向へ使っていきたいです。

家庭

子どもたちが安心・安全に暮らせる社会を、保護者も願っています。その願いは、人権標語の短い言葉からも感じることができます。未来をつくる子どもたちは、子どもたちを大切に思う保護者によって支えられています。

子どもたちには、情報化社会のリスクを避けるのではなく、正しい知識を身につけ、うまく付き合っていってほしいと願っています。何かトラブルに遭遇しても一人で悩まず、家族や先生に相談してほしいと思います。



人権標語

- ・スマホより わが子をイイネ！でいっぱい……… しばざくら幼稚園PTA 臼井 由実さん
- ・会話はね ラインでするより 言葉でね! …………… 楠丘小学校PTA 山本 剛さん
- ・話すこと 文字で打つより 伝わるよ …………… 西脇中学校PTA 松原 佳代さん
- ・送る前に 確かめてグループLINE その一言が いじめにつながる …… 黒田庄中学校PTA 藤本 優子さん
- ・画面より 目を見て話そう 今日のこと …………… 黒田庄中学校PTA 飛田 さつきさん

入選作品よりインターネットにかかわる標語を抜粋